学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	音楽Ⅱ「Tutti＋」　（教育出版）						
副教材等	新・ソルフェージュ　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰでの学びを基盤として「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「音楽をつくること」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、グループで協力して音楽をつくることで価値あるものとなり、そうすることで感性が豊かになります。
・音楽が、生涯を通して皆さんの心の支えとなり、生きる力になることを願います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の様々な音楽について、曲想や音楽の構造、背景、多様性などを理解し、必要な技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
身に付けた知識や技能を生かし、音楽を形作る要素や関連を感受し、評価しながら知覚したことを表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
すべての学習に対して、主体的にそして協力して取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の様々な音楽について、曲想と音楽の構造や文化的・社会的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協同的に表現及び感情の学習に取り組もうとしている。 自分の目指す音楽表現をするための課題を主体的に解決しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	舞台芸術の世界	【鑑賞】 ・オペラとミュージカルの違いを知る ・舞台芸術が出来上がるまでを知る 演目 「オペラ座の怪人」 「美女と野獣」 「キャッツ」 他	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりについて理解を深めている b:音色、速度、旋律、強弱、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したこととの関わりを考える c:総合芸術において物語と音楽がかかわりあいながら、どのような表現上の効果をもたらしているか、また音楽とほかの文化が互いに、どう影響しあい発展してきたかに関心を持ち、主体的・協同的に取り組もうとしている	プリント 確認テスト	プリント 感想	プリント 取り組みの姿勢 振り返りシート
	楽しく歌おう	【歌唱】 Tomorrou 自分たちで選んだ曲	a:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他社との調和を意識して歌う技能を身に付けている b:音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している c:なじみのある歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら歌うことに関心を持ち、主体的・協同的に取り組もうとしている	プリント 実技テスト	プリント 実技テスト	振り返りシート 課題

ステージ2	ギターを演奏しよう	【器楽】 音階、奏法の確認 練習曲 「夕焼け小焼け」 「きらきら星」 「チューリップ」他	a:曲想と音楽の構造との関わり、楽器の音色や奏法との関わり、それらによって生み出される表現上の効果、器楽表現の固有性や多様性について理解している 　創意工夫を生かした演奏をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能などを身に付け表現している b: 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している c:奏法を身に付け、個性豊かに表現を工夫しながら主体的・協同的に取り組んでいる	プリント 実技テスト	プリント	プリント 振り返りシート
	箏を演奏しよう	【器楽】 箏 「荒城の月」	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及び、そこから生まれる表現上の効果について理解している 　創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、技能を身に付け表現している b: 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している c:和楽器の音色や奏法の特徴を感じ、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心を持ち、主体的・協同的に取り組んでいる	プリント 実技テスト	プリント	プリント 振り返りシート

ステージ3	プレゼンテーション	【プレゼンテーション】 紹介文を作成し、楽曲の背景、特徴などをプレゼンテーションする	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている b: 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽兵衛減の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴いている c:紹介文を作成してプレゼンテーションすることや、多様な文化が交差し、融合して発展した音楽を味わうことに関心をもち、主体的・協働的にかんしょうの学習活動に取り組もうとしている	プリント 発表	プリント 発表	プリント 振り返りシート
	伸び伸びと歌おう	自分の得意な曲を歌う	a:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している 　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他社との調和を意識して歌う技能を身に付けている b:音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している c:なじみのある歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら歌うことに関心を持ち、主体的・協同的に取り組もうとしている	プリント 実技テスト	プリント 実技テスト	振り返りシート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度